

# ビジネス科の研究が紹介されました

活動成果を発表する生徒ら＝高山市下岡本町、飛騨高山高校  
岡本キャンパス



飛騨高山高生が研究発表

## 高山旅行に高い付加価値

### 農業や田舎料理体験、プラン提案



高山市の飛騨高山高校ビジネス科3年生による課題研究発表会が、同市下岡本町の同校岡本キャンパスであり、生徒らは、取り組んできた高付加価値旅行者をターゲットとする新たな観光プランなどを提案した。同市が昨年、国の高付加価値旅行者誘客モデル地域に選定されたことから、3年生33人は4月から、6班に分かれて探求してきた。外国人旅行者へのインタビューや観光資源の実地調査、外部講師を招いた講演会などを重ね、ニーズに沿った観光プランの企画や立

案などに取り組んできた。1、2年生約70人が聴講するなか、グループごとに約10分ずつ発表した。「田舎」をテーマにしたグループは「自分たちの普段の暮らしを体験してほしい」と、農業体験と田舎料理を味わってもらうことを提案した。山菜採りや田植え、夏野菜の収穫、サツマイモ掘り、餅つきなど、1年を通して楽しめるプランを設定。さらに空き家を活用することで、環境や滞在場所の問題も解消できると説明した。

ほかにも、食と自然や飛騨人の言い伝えなどをテーマにした活動成果などが発表された。(平田成範)